

DERWENT-ACC-NO: 1984-173100
DERWENT-WEEK: 198428
COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Gold alloy for ornamental use - contains aluminium and has purple colour

PATENT-ASSIGNEE: TANAKA KIKINZOKU KOGYO KK[TANI]

PRIORITY-DATA: 1982JP-0203342 (November 19, 1982)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 59093847 A	May 30, 1984	N/A	002	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP59093847A	N/A	1982JP-0203342	November 19, 1982

INT-CL_(IPC): C22C005/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP59093847A

BASIC-ABSTRACT: The Au-Al alloy contains 15-30 wt.% Al.

USE/ADVANTAGE - Useful as a pendant, bracelet, cuff link tiepin, etc. instead of a diamond, emerald or ruby. The alloy is brilliantly coloured by the addition of Al. The alloy is excellent in corrosion resistance and workability.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE-TERMS:

GOLD ALLOY ORNAMENT CONTAIN ALUMINIUM PURPLE COLOUR

DERWENT-CLASS: M26

CPI-CODES: M26-B01; M26-B01A;

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1984-073078

① 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—93847

⑤ Int. Cl.³
C 22 C 5/02

識別記号
CCG

庁内整理番号
7920—4K

③ 公開 昭和59年(1984)5月30日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 装飾用材料

目 6 番 6 号田中貴金属工業株式
会社内

⑪ 特 願 昭57—203342

⑪ 出 願 人 田中貴金属工業株式会社

⑫ 出 願 昭57(1982)11月19日

東京都中央区日本橋茅場町 2 丁

⑬ 発 明 者 滝口藤松

目 6 番 6 号

東京都中央区日本橋茅場町 2 丁

明 細 書

1. 発 明 の 名 称

装飾用材料

2. 特 許 請 求 の 範 囲

金にアルミニウムを15～30重量%添加されて紫色の金—アルミニウム合金に成されている装飾用材料。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

本発明は、ダイヤモンド、エメラルド、ルビー等の宝石類に代替し得る装飾用材料に関するものである。

一般に指輪、ペンダント、ブレスレット、カフスボタン、ネクタイピン等の飾りにはダイヤモンド、エメラルド、ルビー等の宝石類が用いられている。

ところでこれら宝石類を飾りとして取付けた指輪、ペンダント、ブレスレット、カフスボタン、ネクタイピン等の装飾品を一般消費者が購入する場合、非常に高価である。また一般消費者は、この装飾品を装飾店、地金商に売る場合、宝石部分

は品質のグレード、保証は明記されているが、換金に対する保証が全く無いため無価値に等しい。その為、宝石以外の貴金属部分の評価で値段が決ってしまう。

本発明は斯かる実情に鑑み成されたもので、ダイヤモンド、エメラルド、ルビー等の宝石と同様な装飾的機能を持つ装飾用材料を提供せんとするものである。

本発明の装飾用材料は、金にアルミニウムを15～30重量%添加されて紫色の金—アルミニウム合金に成されているものである。

本発明の装飾用材料に於いて、金にアルミニウムを15～30重量%添加した理由は、金地金の組織を変えて紫色になして宝石と同様の装飾的機能を持たせると共に貴金属地金としての換金価値を持たせる為で、15重量%未満ではあざやかな紫色の金—アルミニウム合金が得られず、30重量%を超えると、あざやかな紫色がくすんできて装飾的機能が薄れると共に耐食性、加工性が劣下してくる。

上記の通り本発明の装飾用材料は、あざやかな

紫色をした金合金より成るので、これを加工して指輪、ペンダント、ブレスレット、カフスボタン、ネクタイピン等の装飾品の飾りとして取付ければ、宝石と同様の装飾的機能を発揮する。またこのように装飾品に取付けた飾りは、金合金であるので、金地金にスライドした換金価値を有し、しかも装飾品としての価値と換金の価値が装飾品の素材によって一致或いは比例することになる。さらに金合金の飾りは宝石に比べ極めて安価であるので、指輪、ペンダント、ブレスレット、カフスボタン、ネクタイピン等の装飾品の価値を低下できて、一般消費者が購入し易くなるものである。

以上の説明で判るように本発明の装飾用材料は、宝石と同様な装飾的機能を有し、金地金にスライドした換金価値を有し、宝石に比し極めて安価であるので、装飾品の飾りとしての宝石に代替し得る画期的なものである。

出願人 田中貴金属工業株式会社